

絲價が下落して

養蠶家救済の對策

春蠶の埋合せに晩秋蠶激增
堀内蠶業技手語る
晩秋蠶の出盛り期を控へて定期市場の大暴落を来し上格千七百圓を正に破れんとする氣配であるが右に關し石城郡役所の堀内蠶業技手は語る一本年度は春蠶に於て霜害のあつた事と絲價の暴落を來せるため一養蠶家の打撃は甚大であつたが夏秋蠶期に於ける天候は桑葉の伸長を促し半年の約四割の増収を見るに至つた結果従來晩秋蠶は極めて少數

平町出身石川女史が

帝展搬入の一番乗り

バラツクにて繪筆を揮ふ
入選確實この噂
平町出身の女流洋畫家にして現に東京池の端のバラツク内に繪筆にいらして居る石川節子女史は一日昨日帝展搬入の第一日一番眞先に出品書を擔ぎ込んだ、女史は磐城高等女學校の前身平女學校を卒業してから女子美術學校を経て今日に及んだ才媛で畫の大きさは八十號で「バラツクに於ける母の努力」と云ふ力作であるが入選疑へなしと唱へられて居る

貫通地主へ

委員が交渉

平町南裡新道路の新川町突當り貫通地帯は吉野良吉氏處有宅地で同氏は其買収に應じ難き氣勢を示しつつある爲め同工事も行惱みの觀あつたが昨日地主側の代表委員として山崎與三郎、吉田伴吉、岡田長三郎の三氏が種々態篤なる交渉を進めた結果同氏も頑強な主張を

常磐片々

鬢カラで人の眼をひいた洋畫家の石川女史が帝展搬入の一番乗り

コンナ處にも女史の面目躍如として面白い

男に生れなかつたのが千戴の恨事とは女史の口癖なさうだ

女でさいもアレだもの男に生れたらどんなマネを仕出かすかも知れない

其處で造物主が迷つた揚句

娘を賣り飛す

悪周旋業者

石城郡湯本町大字湯本字三函人事周旋業米川繁(三)は

妻の死骸を抱き

行詰た貧乏の辛さよ

ハタご 娘二人は機業場稼ぎ
平町字立町居住河沼郡坂下町生れ魚行商人高久小太郎(五)は壯年時代に右手を失ひ片腕にて魚行商をして居たが生計不如意の爲め娘二人を群馬縣の某機業場に工女に出し細い煙りを立て、居た處本年五月頃から内縁の妻竹田ハル(三)が腎臟病を患つた爲め藥料に追はれて食ふや食はずに過ぎす日も多かつたが昨日遂にハルは死亡したのに葬送の費用もない始末なので附近の者が同情し同區から費用を出して淋しい野邊の送りを濟したといふ

戸數割調査

區長が實地を

平町にては昨日現在を以つて後期縣稅戸數割賦課調査を爲すべきであるが居住者の異動往々にして同日の現在及び同日前後の異動に錯誤を來すの虞れある爲め各區に於て區長が七日迄に實地調査を爲す事となつた因に役場より實査に出張すべき吏員は左の如くである



庭家

栗飯の炊き方

米一升に酒と醬油とを各々五勺づゝ加へて、普通の飯加減に炊き、一方では澁皮を美しくむき取り、熱湯で

用組合、四宮信用組合にして他組合も成績不良ではな

い創立未だ淺き故が目立程に成績が上らないが本縣に於て石城郡に於ける組合成績は最も良好にして今後益々伸張の餘地が充分あるので東北に覇を唱へるも近き將來であらう

石炭の産出

一萬噸減少

盆祭りの爲め

仙台礦務所管内東北六縣重要礦山の八月中石炭産出高は左の如く七月の産出高に比し約一萬噸の激減を示してゐる、この減産は盆祭に相當し勢力低下と入山炭礦

西野源次郎、野木善助、松本新次郎、西嶺三郎、鷹岡善積、山野邊達、須藤鶴之助、佐藤稱、沼吟哉

水害防止願

新道路の關係

平町柳町新道路開設の爲め舊外堀を埋立てた爲め溢水押出すので區長山崎喜正衛生區長水野猪吉兩氏は左記願書を本日役場に提出した

平町柳町十七番地道路約五十間餘
右は柳町より舊城跡へ通する新道路開設の爲め舊外堀を埋立てた爲め溢水押出し通行困難に付過般土管を掘付け一時通行に便ならしむる御設計相成候へ共向降雨毎に出水致し附近民家の床下に浸入し殆んど困難致し居り道路の地上げを爲さざるを得不得状況に候處幸ひ目下新設道路掘下中の採土を以て之れに充當せば一舉雨得の事と存候間右御施工相成度此願上候也

茸の問合せ

平小 林區署主催白岩山茸狩りは十日に催す筈であつたが十日に延期し果して茸の出揃へ方がどうであるかを地元に問合せ中であると

はれてゐる大きなものよりも、普通野山に自生してゐる柴栗の方が却つて美味しいのですが、悲しい事には其實が小さすぎて種々の點で不便を感ずることが多いのですから料理に用ふるには相當質も大きければ味もよい鹿の爪又は銀寄(銀蕨)等がよろしい

平町の 國稅は完納

成績が良好

平町役場に於ける國稅の所得稅、租稅、雜租は納期が廿五日で昨日締切りにて平稅務署に廻送したが全部完納であつて財界不況の折柄にも拘らず成績が良好であつたと

平町人事

出生

△桶地小路 大内樹壽氏二男三男
△月見町 根本正尙氏二男三男
△南町 鈴木次郎氏長女米子

死亡

△立町 竹田ハル(三)